

第四章 リベイロン・プレート市（サン・パウロ州）での在サン・パウロ日本国領事館開設



リベロイン・プレート市在の海興支店

リベイロン・プレート市（サン・パウロ州）での在サン・パウロ日本国領事館分館

1918年7月1日開設、初代主任は副領事三隅棄蔵氏。（「日系社会史年表」41ページ）

1923.6.30、早尾季鷹、1926.4.25、濱口光雄、1930.5.10、成瀬廉、～以後把握できず1940、福岡章、等歴代赴任副領事、1942年6月9日付け閉館。分館は繁華街の一等地15広場（Praça Quinze de Novembro）の近くにあり、また移民の世話をする海外興業会社の支店もあった。この町を中心とするモジアナ地方に多くの日本人農業者が散在しているため、領事館勤務の齋藤武雄氏（秋田県秋田市出身）、海興の坂元支店長も親愛会（リベイロン・プレート日本人会の前身）に出席。

（「モジアナの土に生きる」139ページ）

特記 戦没2世について（「蒼氓の92年」）

*齋藤ジュリオ行雄（海軍）、父親齋藤武雄と妻ヒサの一男五女の長男として1923年7月20日サン・パウロ市で誕生。父親武雄は領事で戦前サン・パウロ日本総領事館リベイロン・プレート分館、さらにパラナ州でも領事で勤務したが、1939年武雄の帰国命令でジュリオも一家と共に帰国、進学して早稲田国際学院在学中、1943年横須賀第2海兵団に入団、同8月15日第952航空隊に入隊、1944年2月9日南方海域のグエゼリン環礁、エビゼイ島で玉砕（21歳）。

付記 齋藤武雄氏の子女齋藤アテンさんは現在サント・アマロ在住（2005.11.25）